学校番号	T3011

令和２年度　工業科

教科	工業	科目	課題研究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	各教員による自作の教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

工業科の授業で学んできたことの集大成となる科目です。加工やモノづくり関連の課題では、今まで身につけてきた工業の知識や技術をもとに一つの作品として生み出すことができます。また、資格取得ではキャリアのステップアップとして、自己実現に向けた取り組みを目指しています。

2　学習の到達目標

工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	工業技術に関する諸課題について関心をもち，その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。	工業技術に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，技術者として適切に判断し，表現する創造的な能力を身に付けている。	工業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，環境に配慮し，ものづくりを合理的に計画し，その技術を適切に活用している。	工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	取り組み状況 出席状況 計画性・創造性	取り組み状況 計画性・創造性 プレゼンテーション力	取り組み状況 計画性・創造性	取り組み状況 計画性・創造性 プレゼンテーション力

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 後期	(ⅰ)織物製作　(Ⅱ)自動車　(Ⅲ)ロボット・ものづくり　(Ⅳ)資格取得	(ⅰ)織物制作 さをり織りでの作品制作を通じて設定する作品テーマの表現を養う。秋季発表大会や産業教育フェアなどで作品発表を行う機会を設ける。 (ⅱ)自動車 自動車の構造を知り、製作するだけではなく大会出場を目指す。モノづくりの技術だけではなく、使用する材料や技術を選択できる力を養う。 (Ⅲ)プログラミング プログラミングを用いて物事のアルゴリズムを知り、テキストプログラムでゲーム作品を作る。 (Ⅳ)資格取得 様々な資格取得を目指し自己実現を促す。就職や進学につなげる実務的な技術を身につける。	○	○	○	○	(ⅰ) 織物制作 a:さをり織りに関する関心 b: 基礎的・基本的な知識と技術を基にデザインを考えているか c:作品を制作できている d:さをり織りに関する知識をみにつけている (ⅱ)自動車 a:自動車制作に関する関心 b: 基礎的・基本的な知識と技術を基に自動車制作に取り組んでいるか c:自動車製作ができている d:自動車に関する知識を身につけている (Ⅲ)プログラミング a:ゲームプログラムなどの製作品に関する関心 b: 基礎的・基本的な知識と技術を基に製作に取り組んでいるか c: ゲームプログラムなどの製作品ができている d: ゲームプログラムなどの製作品に関する知識を身につけている (Ⅳ)資格取得 a:様々な資格に関する関心 b:資格について理解し取り組んでいるか c:資格を取得できているか d:資格に関する知識を身につけているか	取り組み状況 出席状況 計画性・創造性 プレゼンテーション力

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。